

たんぽぽ

「たんぽぽや いくたび踏まれて きょうの花」



八南小学校 校長室だより

令和6年 9月2日 (火)

5年生野外教育活動

夏休み中の8月19日・20日に5年生が1泊2日の野外教育活動に行ってきました。行き先は「きららの里」です。北設楽郡設楽町にあり、豊川市のすべての小学校が利用しています。標高916mの場所にあり、一般的に100m高くなると気温は0.6℃ほど下がると言われていますので、およそ気温は27℃前後でした。蒸し暑さはありましたが、地上のような耐え難い暑さではありませんでした。

安全面、体調面への配慮や市全体の動きなどから、本年度より1泊2日となりましたが、食事づくり、キャンプファイヤー、森林教室、ストラップ作りと昨年度までと同じ内容の活動を行いました。1日目の食事作りではカレーライスを作りましたが、さすが家庭科の授業で練習したためか（もしかして家でも？）、手際よく調理できました。夕食時に一緒に食べさせていただきましたが、とても上手にできていて、おいしくいただきました。キャンプファイヤーは、天候のことを心配して屋根付き広場で行いました。各クラスのスタンツやゲーム、歌などみんなで盛り上がりとても楽しい時間となりました。ケミカルライトを使った光の舞も、練習の成果を存分に発揮して、光の動きがみんなでそろい、とても美しく、あざやかでした。「アンコール」の歓声が起るほどで、見ている子たちも大満足でした。

2日目の午前中、あいにくの天候で、森林教室は歩いての観察はできませんでしたが、代わりに講師の方に森林を題材にしたクイズや興味深い話をしていただき、子どもたちは熱心に話を聞いていました。

親元を離れて、自分のことは自分で行い、学年学級の仲間と協力して過ごしたこの2日間の体験は、子どもたちにとって自信につながるとともに良い思い出になったのではないのでしょうか。ご家族の方々には、準備や送り迎えなど、さまざまな面でご協力いただき、ありがとうございました。

夏休み明け、子どもたちの体調面の変化に気を配る

44日間の長い夏休みが終わりました。大きな事故やけがの連絡はなく、9月2日には、子どもたちが久しぶりに元気な姿を見せてくれました。しかし、44日という長い休みでした。休み中は、どうしても生活が不規則になりがちです。もしかしたら、夜遅くまで起きていたり、朝遅くまで寝ていたり、長時間ゲームやYouTubeにはまっていたりした子もいたかもしれません。夏休み終了近くから、普段の生活リズムに切り替えができていけるのならよいですが、そうでなければ、今週は4時間授業で、学校のある生活に慣らしていく期間です。この間に1学期のような生活リズムを取り戻してほしいと思います。また、生活リズムとともに、お子さんの表情や態度などの変化にも気を配っていただけたらと思います。学校が始まり、再び一定のルールの中で、集団で生活することになります。休み中と同じように、自分のペースで過ごすことはなかなかできません。周りの人たちとのコミュニケーションに気をつかうこともあるでしょう。学校中心の生活に戻ること、心理的な面での負担は大きくなると思います。不安感が募り、登校を躊躇する場合もあるかもしれません。いつも以上に、お子さんの様子をよく見て、声をかけていただけたらと思います。学校でも、特に注意して、子どもたちの表情や態度の変化に気を配っていききたいと思います。ただ、学校ではなかなか気がつかないこともあるかと思うので、お子さんの様子で気になることや心配なことがありましたら、遠慮なくご相談いただけたらと思います。

2学期のスタート。一気にペースを取り戻そうとして、無理をさせるのではなく、少しずつ元のペースに戻していくぐらいのつもりで、子どもたちを支えていけたらと思っています。

